



”特殊ガラスと薄膜で光を科学する”

2018年度通期

(2018年4月1日～2019年3月31日)

決算説明会

岡本硝子株式会社

(JASDAQ 7746)

2019年5月23日

財務・業績の概況

- ・損益計算書の状況
- ・セグメント別売上高
- ・売上高・利益の推移
- ・貸借対照表の状況
- ・キャッシュフローの状況

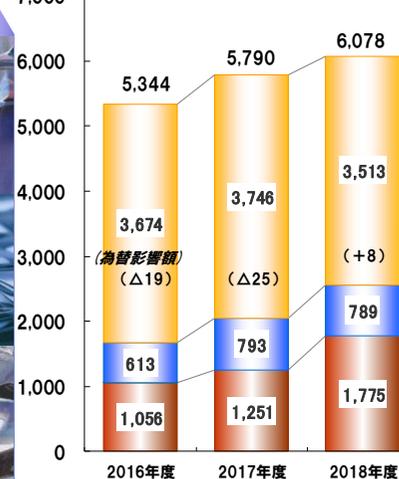
損益計算書の状況

(単位:百万円・%)

	2017年度		2018年度		前年度 対比	前年度比 増減 %
	金額	%	金額	%		
売上高	5,790	100.0	6,078	100.0	288	5.0
販売費及び 一般管理費	1,317	22.7	1,487	24.5	170	12.9
営業利益	212	3.7	331	5.4	119	56.1
経常利益	106	1.8	271	4.5	165	155.7
純利益	83	1.4	186	3.1	103	124.1

セグメント別売上高

(単位:百万円)



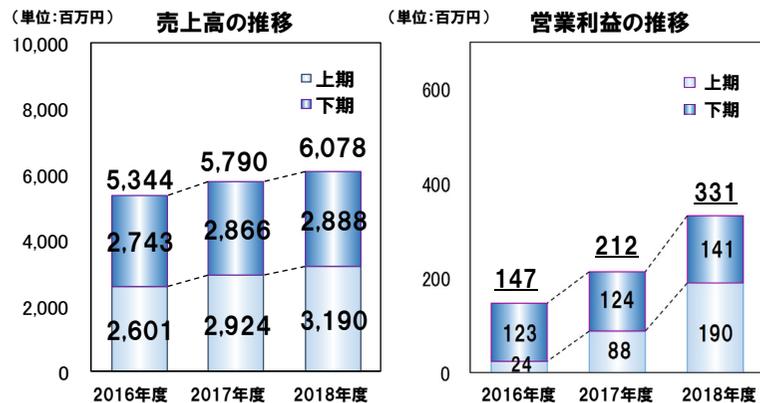
光学事業
 売上: 3,513百万円 前年度比 6.2%減収
 セグメント利益: 752百万円 前年度比 5.4%増益
 プロジェクター用反射鏡 販売数量 3.8%減、金額 7.9%減
 フライアイレンズ 販売数量 5.1%減、金額 3.8%減

照明事業
 売上: 789百万円 前年度比 0.4%減収
 セグメント利益: 26百万円 前年度比 324.1%の増益
 自動車分野の固体光源用レンズの売り上げが増加

その他の事業
 売上: 1,775百万円 前年度比 41.9%増収
 セグメント利益: 73百万円 前年度比112百万円増益
 江戸っ子1号を主力製品とした海洋・特機、ガラス容器への
 加飾蒸着、銀ミラー (Hi-Silver[®])、洗濯機ドアガラス及び
 フリット(ガラス粉末)の売上増加

売上高・利益の推移

新規事業の売上拡大(化粧品用ガラス容器への加飾蒸着受託生産増加、江戸っ子1号365型の受注等)、生産性改善の進捗等により、売上高・営業利益は上期・下期共に前年度対比で改善



貸借対照表の状況

(単位:百万円)

	2017年度末	2018年度末	前年度末対比
流動資産	3,313	3,586	273
固定資産	3,959	3,985	26
資産合計	7,272	7,572	300
流動負債	1,902	2,810	908
固定負債	3,185	2,420	△765
負債合計	5,087	5,231	144
純資産合計	2,185	2,340	155
負債・純資産合計	7,272	7,572	300

キャッシュフローの状況

(単位:百万円)

	2017年度	2018年度	前年度対比
営業活動によるキャッシュフロー	72	397	325
投資活動によるキャッシュフロー	△409	△631	△222
財務活動によるキャッシュフロー	512	209	△303
現金及び現金同等物 期末残高	744	717	△27

2019年度について

- ・業績予想
- ・主要施策

業績予想

(単位:百万円)

	2017年度実績		2018年度実績		2019年度予想	
売上高	5,790	100.0%	6,078	100.0%	6,270	100.0%
営業利益	212	3.7%	331	5.4%	260	4.1%
経常利益	106	1.8%	271	4.5%	125	2.0%
当期純利益	83	1.4%	186	3.1%	115	1.8%

	2017年度実績	2018年度実績	2019年度予想
有利子負債額*	3,850	3,997	3,895
自己資本比率	30%	31%	32%

*リース債務を含む

業績予想

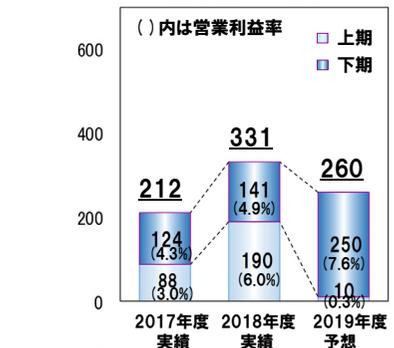
売上高 : 主力のプロジェクター向け製品を中心に、前年度第4四半期から引き続き上期は厳しい事業環境を見込む。但し、年間では固体光源プロジェクター向けレンズ、加飾蒸着、フリット等の売上拡大で前年度対比増加を見込む

営業利益: 中期取り組みの実行に伴う先行費用発生により前年度対比減少を見込む

(単位:百万円) 売上高の推移



(単位:百万円) 営業利益の推移



2019年度主要施策

経営施策

「中期取り組み」の推進に必要な基本施策が中心

生産体制

- ・新潟工場にて加飾蒸着生産開始 (2019年6月から予定)
クリーンルームを2019年4月設置完了し、生産立ち上げ中
- ・高精度プレス成型プロセス用導入・立ち上げ (2019年8月末から予定)
- ・関連会社への生産委託を休止 (2019年7月から予定)

経営・事業体制

- ・経営体制強化、事業体制の変革
- ・開発人員体制増強
- ・2019年度上期より順次本格稼働する新ITシステムを軸とした間接業務の効率化

2019年度主要施策

開発施策

中期取り組み 2019年度テーマ

- ◆ 固体光源(*)対応商品の展開 (*): LED光源、レーザー光源
固体光源プロジェクター、自動車前照灯向けなど
- ◆ 次世代自動車用部品への対応
自動運転等の車載向けセンサーなど
- ◆ 環境・資源・IoT等の課題解決・変革への対応
海洋環境モニタリング、5G通信などの分野向けの商品開発・展開
- ◆ 新たな製造方法の確立
ものづくりを進展させ更なる成長エンジンを構築

2019年度主要施策

固体光源(*) 対応商品の展開(*) :LED光源、レーザー光源



2019年度主要施策

固体光源(*) 対応商品の展開(*) :LED光源、レーザー光源

固体光源プロジェクター向け 引き合い案件開発中

ガラスレンズ

高精度・小型化レンズ
特殊形状レンズ、両面プレスレンズ、微細レンズ等



固体光源用レンズ

ガラスフリット

蛍光体ホイル用PiG PiG (Phosphor in Glass : ガラス封止蛍光基板)
2020年度量産化に向け開発中



ガラスフリット

機能性薄膜

次世代蛍光体基板(樹脂フリー)用Hi-Silver[®]
新製品:高耐熱 Hi-Silver[®](当社従来製品比1.5倍) 開発完了

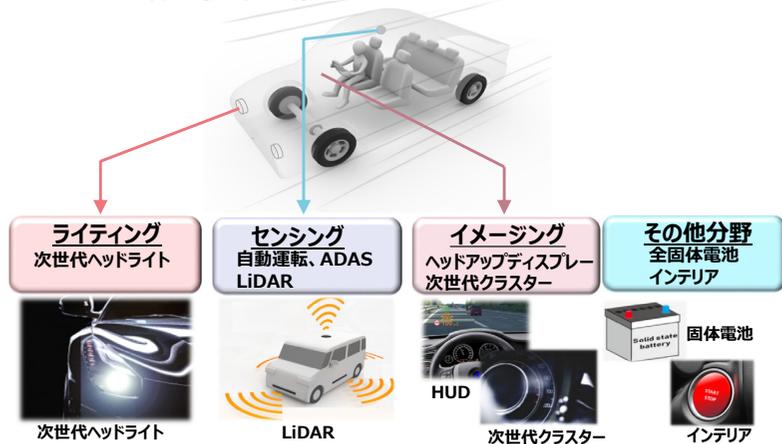


Hi-Silver[®]
高反射・高耐久性銀ミラー

2019年度主要施策

次世代自動車用部品への対応

4つのカテゴリに分け取り組み推進



ADAS (Advanced Driver Assistance Systems)
LiDAR (Light Detection and Ranging)

2019年度主要施策

次世代自動車用部品への対応

引き合い案件開発中

ライティング

前照灯用・特殊形状レンズ
・LD用PiG
・LEDパッケージ基板材料 量産化(2019年5月より出荷開始予定)



センシング

ADAS、自動運転に関連する車載センサー向けカバーガラス
LiDAR等 車載センサー向け赤外線用Hi-Silver[®]

イメージング

HUD (ヘッドアップディスプレイ) (関連会社)
インパネ用カバーガラス

その他

全固体電池向け等 ガラス材料(複数材料、複数チャンネルで開発中)
車載インテリア向けガラス

2019年度主要施策

IoT等の課題解決・変革への対応

ガラスフリット

引き合い案件開発中



当社製ガラスフリット(=非磁性材料)を使用したグリーンテープ試作品

5G通信部品用材料の開発

高周波通信デバイスに使用される積層チップインダクタの主要構成材料である**非磁性材料**を開発中

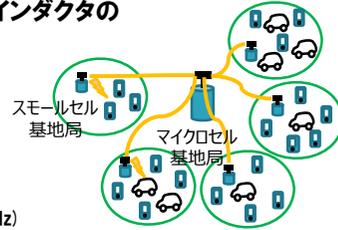
- ・5G基地局 通信デバイス用
- ・5Gモバイル端末用

開発中の非磁性材料は

通信周波数帯域 (800MHz)
～ 車載レーダーに使用されるミリ波帯域 (76GHz)

の広い周波数帯域で良好な性能「低誘電率・低誘電損失」を有する

5G通信の様々な適用分野に対応する電子部品向けに展開推進



2019年度主要施策

環境・資源等の課題解決・変革への対応

江戸っ子1号, 耐圧ガラス球

◆ フリーフォール型深海探査機江戸っ子1号=江戸っ子1号365型 海底設置型の長期環境モニタリング装置

2018年12月 国立研究開発法人 海洋研究開発機構へ 納入
内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 第2期 革新的深海資源調査技術 案件

→ ISA(国際海底機構)の指針「海底環境を1年程度観測すること」に沿ったスペックを安価に実現する観測装置として、ISO規格の標準化に向けた取り組みも進行中



江戸っ子1号 365型

◆ 耐圧ガラス球 資源探査等他用途への拡大

- ・SIP 第2期において海洋調査の係留系(観測システム)
- ・資源探査等を目的とする海底地震計等へのガラス球



耐圧ガラス球

2019年度主要施策

新たな製造方法の確立

ダイレクトプレス

新たな製造方法

- 固体光源化等技術の進化による要求精度・製品仕様の変化
- 部品点数削減、トータル効率化などから両面レンズなど高付加価値レンズの需要が増加
- 自動運転(ADAS等) 関連センサーカバーなど、要求仕様が軽量薄肉化

複雑立体形状化・高精度化

従来のガラスプレス領域から変化

2つのアプローチ

① 複雑立体形状等に対応する新たな成型プロセス

② 高精度化等に対応する新たな成型プロセス

2019年度主要施策

新たな製造方法の確立

① 複雑立体形状等に対応する新たな成型プロセス

ダイレクトプレスの溶融ガラスを応用した新たな成型プロセス

「精密かつ複雑な立体形状を有するガラス製光学部品」を成形する方法を開発(特許出願済)

レンズ新技術製品(イメージ)



→ 固体光源プロジェクター向け、車載向けの引き合い案件にて試作中

2019年度主要施策

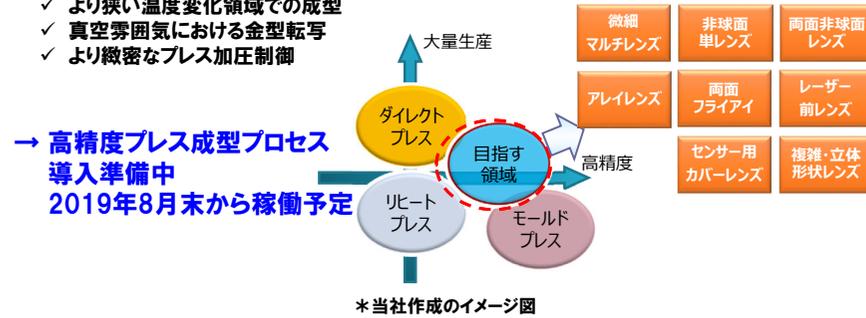
新たな製造方法の確立

② 高精度化等に対応する新たな成型プロセス

モールドプレスに迫る技術向上

- ✓ より狭い温度変化領域での成型
- ✓ 真空雰囲気における金型転写
- ✓ より緻密なプレス加圧制御

ダイレクトプレスの量産性 & モールドプレスの精度



2019年度について

中期取り組み施策を着実に実行し 変革・成長を推進していきます

2018年度策定中期計画 業績数値目標



本日は当社説明会へ
ご出席いただきありがとうございました。
今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう
お願い申し上げます。

岡本硝子株式会社

(注)スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる可能性を含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。